

11月労働者集会25年

# 3労組共同アピール

—11・6労働者集会／改憲阻止！1万人大行進に

## 賛同をお願いします

### ●時代の岐路に立って

「3労組共同アピール」——11月労働者集会・改憲阻止！1万人大行進への賛同をお願いします。私たちは、時代の岐路に立って、25年継続してきた労働運動再生に向けた努力を新たな段階に進めたいと決意しました。全国の多くの皆さんと共に討議し、変革に向けた計画をつくり、様々な行動を組織したいと考えています。

### ●全国の仲間たちの力を！

労働者の未来をかけて関支支部への大弾圧をはね返そう。新自由主義を終わらせるために労働運動を刷新しよう。改憲と戦争を止めるために力を合わせて立ち上ろう。労働者の国際連帯闘争を発展させよう。この闘いに多くの仲間たちが加わって下さることを願っています。

### ●国境・国家をこえて

世界中が固唾を飲んでウクライナの危機を注視しています。出口のない危機が世界を覆い、戦争の足音が高鳴っています。私たちは、ロシア・プーチン政権のウクライナ軍事進攻にも、それを奇貨として加速するアメリカ・NATO・日本の戦争政策にも反対します。

### ●改憲・戦争を止めよう

日米政府は、直ちに「ウクライナ事態をインド・太平洋に波及させないために対中国抑止力を強化する」こと、さらなる大軍拡への突進を合意し、安倍元首相は「核兵器の共同保有」までうちあげ、改憲攻撃の歯止めが外れようとしています。いまこそ国境・国家をこえて戦争反対の声をあげなければなりません。労働者の国際連帯闘争で戦争を止めよう。労働者の団結した力で新自由主義を終わらせよう。闘う労働組合を甦らせよう。

名称 11・6全国労働者総決起集会

日時 改憲・戦争阻止！1万人大行進

11月6日(日) 正午～

場所 東京・日比谷野外音楽堂

呼びかけ 全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部

全国金属機械労働組合港合同

国鉄千葉動力車労働組合

事務局 千葉市中央区要町2-8 DCC会館

Tel 043(222) 72007

Fax 043(224) 7197

## 「11月労働者集会」25年 3労組共同アピールに賛同します

組合・団体名か個人名をお願いします。個人の場合は組合・職場・役職等をお願いします。

(公表可・不可)

連絡先(資料等の送付先)

電話

メール

賛同金 個人(500円)

円 / 団体(1000円)

円

メッセージをお願いします

# 11月労働者集会とは —闘う労働組合の全国ネットを呼びかけ—

この集会は「闘う労働組合の全国ネットワークをつくろう」と訴えて年に1度開催され、今年で25回目を迎えます。

最初のきっかけは、1998年5月に国鉄1047名解雇撤回闘争に対する「JRには民営化に伴う解雇の法的責任は及ばない」の反動判決でした。国鉄分割・民営化は20万人が職場を追われた戦後最大の労組破壊の攻撃でした。それなのにその責任はJRには及ばない。

これでは解雇も不当労働行為もやりたい放題になるとの危機感が関西生コン支部、港合同、動労千葉の3つの労働組合を結びつけ、共同の呼びかけで集会が始まったのです。

国鉄解雇撤回闘争は2015年6月、民営化の際の国鉄職員の「不採用基準」が不当労働行為であったとする画期的な最高裁決定をかちとり、しかもその不採用基準の策定を命じたのが民営会社＝JR側だったことも暴きだしました。JRに法的責任なしの虚構を突き崩し、国



鉄分割・民営化が国家的不当労働行為であったことを明らかにさせたのです。

また03年の動労千葉のイラク戦争反対ストライキをきっかけに集会は労働組合の国際連帯が発展しました。米国からILWU（国際港湾倉庫労働組合）、韓国から民主労総ソウル地域本部の代表団が参加したのです。以来、ドイツ・英国・トルコ・ブラジル、台湾などの戦闘的労働組合の代表団が参加し、「万国の労働者、団結せよ」の呼びかけを発しています。

## 新自由主義攻撃と3労組

私たち3労組が「闘う労働組合の全国ネットワークをつくろう」と呼びかけを発した原点は1980年代にあります。国鉄分割・民営化を契機に社会をのみ込んでいった新自由主義攻撃が私たちを結びつけたのです。日本の労働運動はとめどなく後退していきました。3労組はその渦中で強力な団結を形成していきました。そこに共通点があります。

### 関西生コン支部

全日建運輸連帯労組関西地区生コン支部は、現在の大弾圧につながる激しい弾圧・不当逮捕攻撃を受けながら、「資本主義の根幹を揺るがす運動だ。箱根の山を越させてはならない」と、当時の日経連会長に言わしめるような画期的な産業別労働運動をつくりあげました。それは新自由主義的競争原理と真正面から対決する闘いでした。

### 港合同

全国金属機械労組・港合同は、1978～87年の苦節10年にわたる闘いによって、自己破産・全員解雇・破産法攻撃を突破して田中機械争議に勝利しました。その闘いは、日本の労働争議史に残る画期的地平です。しかもその闘いの中から、地域を一つの労働組合として組織し、勝利する中小労働運動の新たな地平を確立したのです。

### 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合は、戦後最大の労組解体攻撃として生まれた国鉄分割・民営化攻撃と対決し、二波のストライキに立ち上がり、40名もの不当解雇攻撃を受けながら団結を守りぬき、その後も国鉄1047名解雇撤回闘争や、JRにおける外注化阻止闘争や「労組なき社会」化攻撃と対決して闘いを牽引しています。